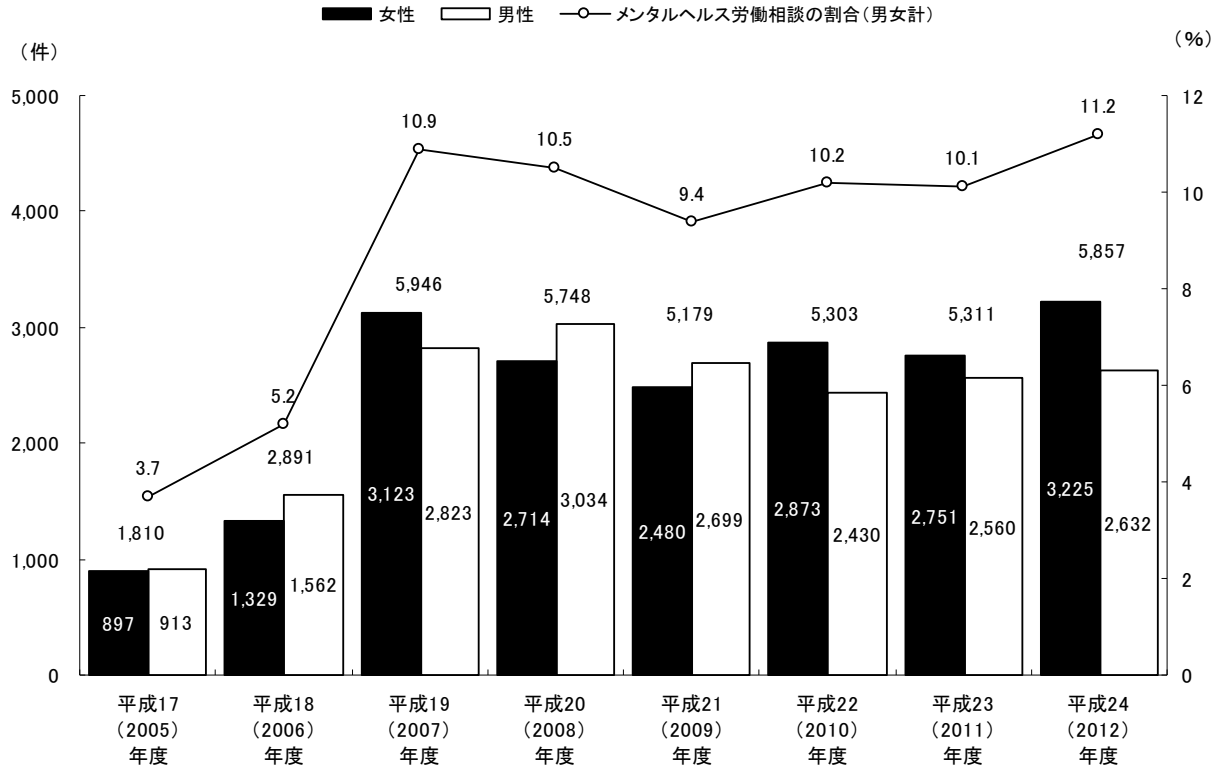
Ⅳ-５　メンタルヘルス

１．メンタルヘルス労働相談件数及び相談割合の推移

都のメンタルヘルス労働相談件数は、平成 24（2012）年度は 5,857 件であり、女性が 3,225 件、男性が 2,632 件となっている。労働相談の割合は 10%から 11%前後で推移している。

図表Ⅳ－５－１　メンタルヘルス労働相談件数及び相談割合の推移（都）



注１：メンタルヘルス労働相談の割合は、労働相談全体に占める割合

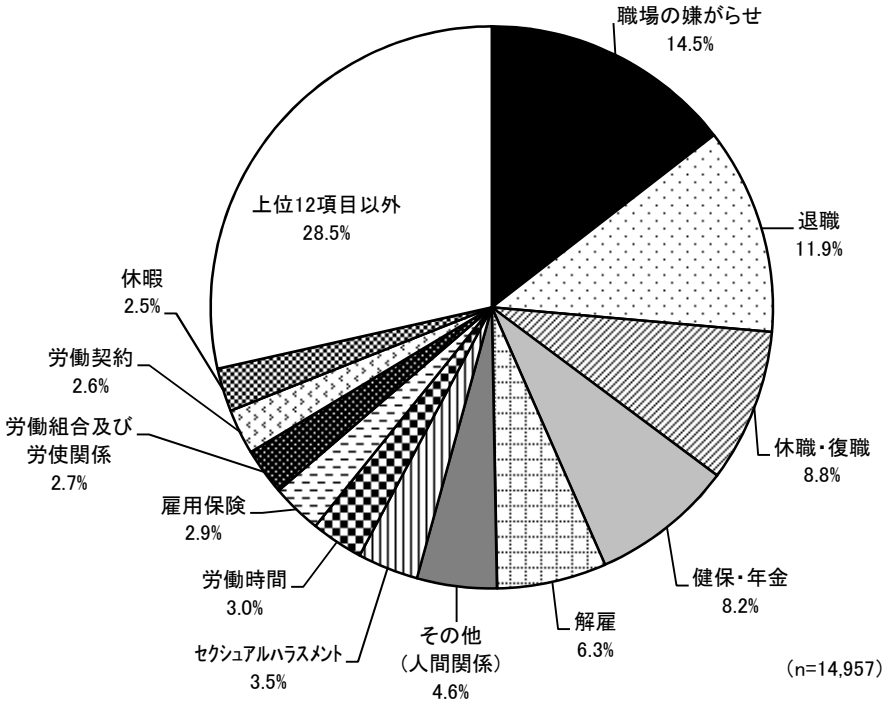
注２：労働相談・あっせんの中では、本人自らが「心の問題を抱えている」と話した場合、使用者との調整の中で心の問題が浮かび上がってきた場合のみ、「メンタルヘルス」とし計上している（相談担当者から確認するような行為は、労働相談の円滑な進行を妨げるおそれがあるため）。このため、数値の扱いには留意が必要

資料：東京都産業労働局「労働相談及びあっせんの概要」（平成 25 年）

２．メンタルヘルス労働相談の内容

都の平成 24（2012）年度のメンタルヘルス労働相談の内容をみると、「職場の嫌がらせ」が 14.5%と最も多く、次いで「退職」（11.9%）、「休職・復職」（8.8%）となっている。

図表Ⅳ－５－２　メンタルヘルスに関する労働相談の内容（都）



注：上位 12 項目のみ表示

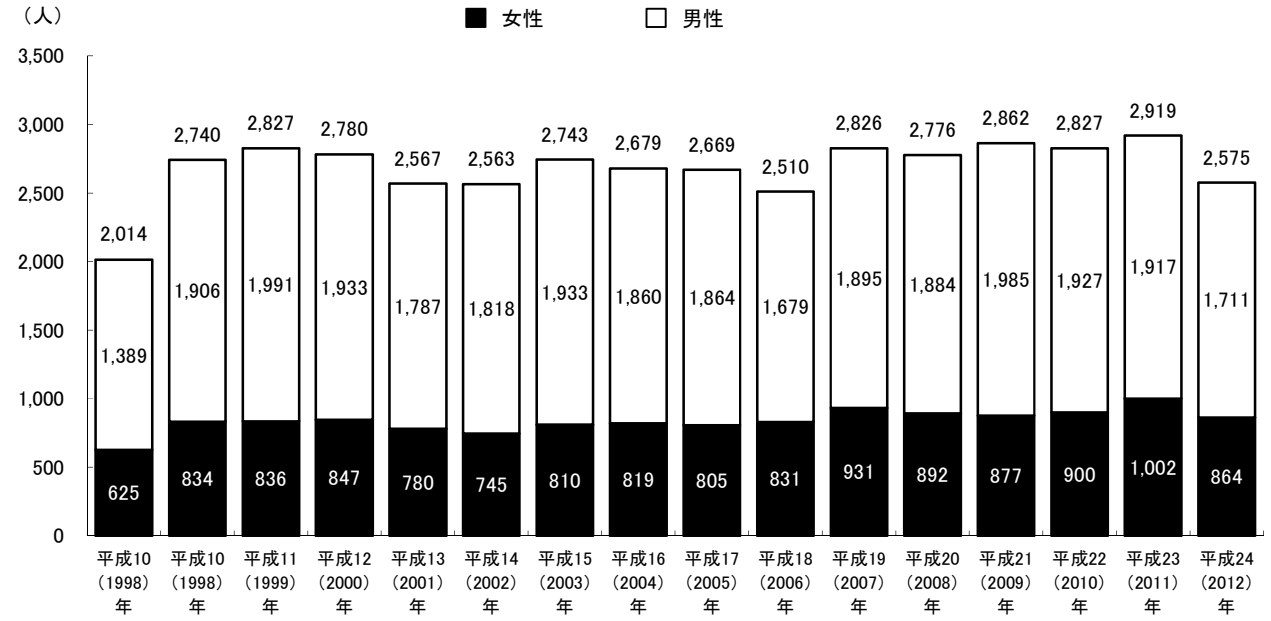
資料：東京都産業労働局「労働相談及びあっせんの概要」（平成 25 年）

３．自殺者数の推移

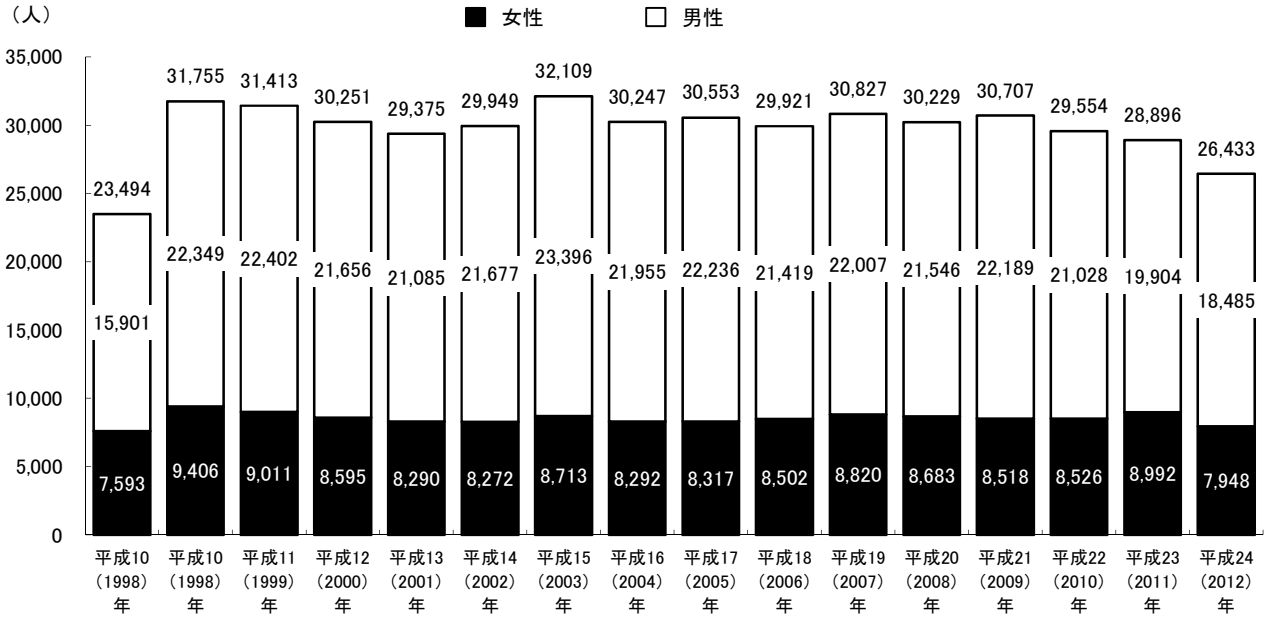
全国的に自殺者が急増し 3 万人を超えた平成 10（1998）年に、都でも同様に急増した。それ以降、高い水準で推移したが、平成 24（2012）年は 2,575 人となっており、平成 23 年より 344 人減少している。全国では平成 15（2003）年の 32,109 人をピークに近年は減少傾向にあり、平成 24（2012）年は 26,433 人となっている。都・全国ともに女性の自殺者数は各年とも全体の 3 分の 1 程度である。

図表Ⅳ－５－３　自殺者数の推移（都・全国）

＜都＞



＜全国＞



資料：資料：厚生労働省「平成 24 年（2012）人口動態統計（確定数）」